

地域の達人 紹介します！

高浜市では、生涯学習基本構想のもと、学びをとおした人づくり・地域づくりを進めています。「地域の達人」と称して、地域で活動をしているいろいろなジャンルの達人の活躍する姿をより多くの方に知ってもらい、生涯学習のネットワークを広げていくため、毎月15日号で紹介しています。地域の達人とは…高浜市に在住、在勤、在学している方で、いろいろな特技や専門分野を持った方



「読み聞かせの達人」

まつもと ひとし
松本 仁さん (沢渡町在住)



▲松本 仁さん

◆読み聞かせを始めようと思ったきっかけは何でしょうか？

私は8年ほど前に高浜市に来たのですが、たまたま小学校で読み聞かせをする人を募集していることを聞いて、「これは土地の人と知り合うチャンスだな」と思い、経験ゼロでしたが、始めてみました。最初はとても緊張しましたが、私自身のことを知らなくても、子どもたちが絵本のお話に夢中になってくれるようすを間近でみてやりがいを感じました。その後、図書館での読み聞かせボランティアにも参加しています。

◆松本さんにとって読み聞かせの魅力は何でしょうか？

なんといっても、子どもたちの楽しんでいるときの反応ですね。読み聞かせをして日々感じるのは、子どもは大人よりも怖いというか、反応が敏感なんですね。教えてやろう、という気持ちがこちらにあると反応は冷やかですが、いったん楽しいと感じると喜んでくれて、家でも親御さんに話してくれているようです。そのことから、まずは自分自身が絵本を楽しむことが大事だなと思います。そして、この読み聞かせという場を通じて、彼らに励まされている、元気や勇気をもたらしているのも大きな魅力です。

また、市内の学校図書ボランティア団体の活動が、文部科学大臣表彰を受けたといった外からの評価もうれしいですね。

◆読み聞かせ以外にも色々と活動をされているようですが。

読むということが好きになり、朗読講座に通っています。それがきっかけになって、劇団に声をかけられて芝居もしています。また、KATCHのホームドラマに2年前から出演しています。

◆これから読み聞かせをやりたいなという方にメッセージをお願いします。

まずは、自分の子どものため、孫のためといった気軽な気持ちで始めてみてはどうでしょうか。大人がどれだけ子どもたちに時間をかけてあげられるか、助け合える人がどれだけ多くいるかは、広くいえばこの地域の魅力にもつながるのではないのでしょうか。1日のうち、自分のために使う時間と他者のために使える時間にわけるとすると、後者は自分の成長につながる時間になりますし、きっと自分の大切な財産になると思います。



▲図書館での「全国訪問おはなし隊」イベントにて



▲図書館フェスティバルにて

読み聞かせをやりたいなと思った方は、図書館 (☎52-0240)まで気軽に連絡してください

地域の達人を募集しています

こんな趣味や特技を持っていて、ぜひ地域の方に知ってもらいたいなという方がいましたら、気軽に知らせてください。(自薦・他薦どちらでも可)



問合せ先 困文化スポーツグループ ☎52-1111 (内線300) FAX52-1110
Eメール bunka@city.takahama.lg.jp